

JA みねのぶ



美唄市内幼稚園児がトウモロコシ収穫体験（8月20日、美唄市光珠内下中の沢 佐藤勝彦宅）

■発行日/令和3年9月1日/No.1433号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

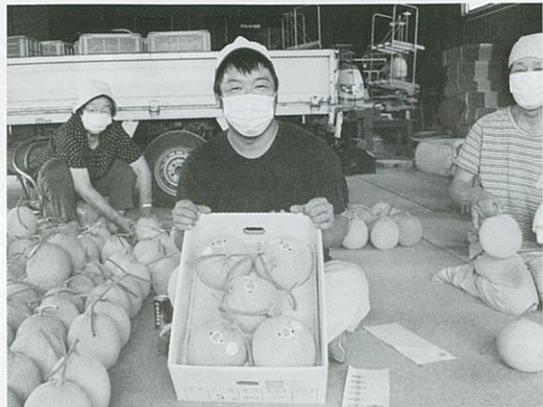
■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

メロンの収穫開始

J A管内では7月18日から、メロン「ルピアレッド」の収穫作業が始まりました。

峰延メロン生産者会でトップを切つて収穫を行ったのは、光珠内町でメロンを約36t作付けしている上島達也さんで、例年並みの収穫時期となりました。

上島さんは「天候に恵まれない日々が続いて例年になく管理作業は苦労したが、味・品質も上々の仕上がりとなりました」と話してくれました。



メロンを箱詰めする上島達也さん

として重宝されているメロンです。主に、コーポさっぽろ東店・南店・美唄店に出荷しています。

第7回(8月)定例理事会の開催について

8月26日開催の第7回定例理事会において、次の付議事項が決定されました。

◇付議事項 ◇

- 玄米ばら施設吹き抜け外壁復旧工事について

◇協議事項 ◇

- 「第30回JA北海道大会組合員組織討議」のJA意見集約について

決して収穫はあり得ない。収穫はまさに、種や肥やしや手間として出て行つたものが、帰つて来たものである。先に手塩にかけて、育てたということがなれば、良い取穫は得られない。商売でも、それは同じである。何事もまず譲り、相手に与えることから始めるようすべきである。

一報徳

四海困窮せば天禄永く終る

翁は次のように話された。入つてくるということは、出たものが帰つて来ることである、と理解すべきである。例えば、農事においては、種をまき、人糞や干鰯などの肥やしを施し、いろいろ手入れを行えば、秋には多くの収穫を得る事が出来るのである。しかし、

作物や樹木などの種を蒔いて、芽が出るとすぐに芽を摘んでしまい、枝が出るとすぐに枝を切り、穂が出るとすぐに穂を摘んでしまえば、

中庸の序に、「人心これ危うく、道心これ微かなり、これ精これ一、まことにその中をとれ。」とあり、論語にも「まことにその中をとれ、四海困窮せば天禄永く終えん。」とある。これは、堯が舜に、舜が兎に帝位を譲る時に言い伝えた言葉である。「國中が貧困にあえぐようになつてしまえば、國の命運は尽き果ててしまう」から、租税などで國民から取り立て過ぎないように注意しなければならない、

と述べているように、常に多くの国民が豊かさを保てる範囲で國の経費を賄わなければ、國は滅亡の方向に進む。まことにその通りである。

微かなり」とは、身勝手にすることは危ないことで、他の人のためにしてあるものだぞ、ということである。「これ精これ一、まことにその中をとれ」とは、能力精力を専くして一心を堅くして、二百石の者は百石で暮らし、百石の者は、五十石で暮らし、その半分を推讓して、村が衰退しないように、村がますます富み栄えるように努めよということである。「四海困窮せば天禄永く終えん」とは、村が困窮する時には、田畠をどれほど持つていようとも、決して税収は上がらなくなるものだということである。帝王の話だから、四海、天禄と言っているのだ。そなたたちのためには、四海を村と読み、天禄を税収と読むがいい。

(夜四〇)

おくやみ申し上げます

神谷 恕さん

(80歳) 8月16日
美唄市光珠内町南

高久 喜代子さん

(88歳) 8月20日
美唄市上美唄東



研修会の様子

J A職員会が共済事業に関する研修会開催
7月21日の営業時間終了後、JA会議室で若手職員を対象に共済事業に関する研修会が開催されました。

研修会はJA職員会が主催してJA金融課の佐藤みゆき主任が「共済事業を知る」をテーマに、共済の仕組みや日常に潜むリスクを交えて共済の必要性を説明しました。

研修会はJA職員会が主催してJA金融課の佐藤みゆき主任が「共済事業を知る」をテーマに、共済の仕組みや日常に潜むリスクを交えて共済の必要性を説明しました。

開会式で吉田会長は「気温が高いので熱中症に気をつけて、怪我のないよう楽しんで親睦を深め、日頃の練習の成果を發揮してもらいたい」と挨拶を述べ、続いて、安達常務理事がお祝いの挨拶を述べました。

参加者は3組に分かれ3つのコースから一斉にスタート、日頃の練習の成果を発揮しようと真剣にプレーを行い、時々見られる好プレー、珍プレーに歓声や嘆息が起り和やかに楽しんでいました。

今大会の優勝者は、男性は渡辺

峰延農協年金友の会 パークゴルフ大会開催

7月27日、峰延農協年金友の会（会長 吉田 栄）のパークゴルフ大会が三笠市岡山にある三笠市パークゴルフ場（36ホール、全長1774㍍）で開催されました。昨年は、7月に開催してきた大会を新型コロナ禍で中止にし、秋の大

会の1回だけの開催となりました。

参加者は事前に事務局に参加申し込みを行った29名（男性20名、女性9名）、気温35℃を超す猛暑日となる炎天の下、参加者の皆さんには飲み物を持参し白熱したプレーを開催していました。

幹夫さん（峰延東松盛会）、女性は渡辺艶子さん（峰延東松盛会）でご夫婦での優勝となり、競技終了後に表彰式が行われました。



暑い日に頑張ってプレー

減農薬米「土生米」生産圃場に「どじょう」の稚魚確認
「米づくりを考える会（会長 鈴木孝典）」の会員8名が6月21日に「土生米（どじょうまい）」の生産圃場に放流した「どじょう」が産卵して卵が孵化し稚魚が確認されました。当JAの「土生米」はイエス！クリーンに登録された減農薬米で、近年少なくなった「どじょう」を生産圃場に放流



圃場で捕まえた「どじょう」の稚魚

第2回監事監査終わる

本年7月末を基準日とする第2回監事監査が8月23日から25日までの3日間、高田代表監事以下3名の監事によって執行されました。本年度の第2四半期における事業の進捗状況及び会計処理の状況等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、幹部職員に対して今回の監査結果について講評が行われました。

し、「どじょう」が生息できる安全部安心な栽培環境で栽培された米であることを消費者の皆さんに知つてもらおうと、平成24年から栽培を始めてコーポレートサッポロ宅配トドックで販売されています。



尾高さんの圃場を散布する無人ヘリコプター



販売の様子（JR生鮮市場岩見沢店7月31日）

なお、今後の散布は、8月中旬までの期間に全4回を予定しています。また順調に作業が終わりました。実施面積は144.96haです。

散布する農薬は希望される内容に合わせていちご病の予防剤のほか、殺虫剤や倒伏軽減剤を使用して散布されました。

なお、今後の散布は、8月中旬までの期間に全4回を予定しています。

ところが本年の6月と7月の両月とも観測史上最多で、6月が25.8.5時間（平年比148.9%）、7月が24.5.5時間（平年比157.2%）でした。

気温を見ると、本年7月の月平均気温は、美唄が22.9℃（平年値20.4℃）、岩見沢が22.9℃（平年値20.2℃）で両市とも本

年の7月が観測史上最高の1位でした。また日最高気温は、美唄が7月31日の35.6℃が観測史上1位、以降6位まで本年7月の別の

無人ヘリコプターによる水稻農薬散布を行う

J Aが取りまとめて実施している無人ヘリコプターによる水稻の農薬散布が7月17日から始まりました。

第1回目の防除は7月17日から2日間の日程で行われ、晴天に恵まれ順調に作業が終わりました。実施面積は144.96haです。

J R生鮮市場で米「峰」のPR

8月1日、JR生鮮市場岩見沢店でJA米「峰」の販売促進を行いました。

J R生鮮市場の各店舗の周年祭が開催されている7月17日、18日に新川店、7月31日、8月1日に岩見沢店、8月7日、8日に手稲前田店に出向き販売促進を行いました。各店舗では店舗前に特設テントを設置し、飲料・果物・米等の売り出しをしており、当JAは販売企画課の佐藤課長補佐が参加しました。暑い時期の開催でした

が、「いつも食べてるよ」と励ましの言葉を掛けてくれるお客さまや、「ふつくりんこはどんな食味なの？」と問い合わせされるお客さまがあり、消費者と直接交流しながら「峰」のPRを行っています。

以上の日数は、美唄が15日（うち35℃以上は2日）、岩見沢が14日（うち35℃以上は2日）でした。

月降水量は、美唄の本年7月が9mm（平年値122.0mm）、岩見沢の本年7月が14.5mm（平年値111.5mm）で両市とも少ない方から1位でした。

本年7月の気候

半月が真夏日で干ばつ、月の日照時間は観測史上最多

7月の気候は極端に高温少雨でした。岩見沢・美唄観測地点における過去の気象データを見ると次のことが判りました。

月間日照時間は、過去の観測データがある岩見沢の5月は、74年の観測史上最も少ない結果でした。

7月の高温少雨の気候は、小麦の収穫作業等が順調であつた反面、野菜の栽培等には干ばつの影響が出ています。

岩見沢16日連続真夏日

真夏日（30℃以上）は、岩見沢観測地点では7月16日から21日までの6日間続き、その後の7月24日から台風の影響による気象の急変前の8月8日までの16日間続きました。

・貞広優奈（総務課）

II職員の退職II

小林篤一翁の墓を職員が清掃し墓参り

8月5日の営業時間前に職員有志が三笠市峰延墓地にある小林篤一翁の墓を清掃しました。その日の昼休み時間に幹部職員が揃つて墓参りを行いました。



墓掃除の様子



森川組合長・伊藤専務理事と懇談する板東美唄市長

調製施設の視察を行い、当JAの施設には視察の最後に立ち寄られ、小麦の刈り取り、出荷状況や品質等を森川組合長、伊藤専務理事、工藤営農販売課長が説明しました。板東市長は「今年は高温干ばつにより不作の予想であつたが、各施設を巡回すると豊作傾向と聞き安心している」と述べていました。

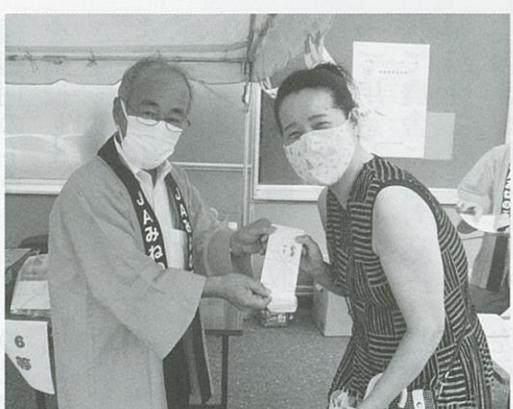
道信連経営管理委員会副会長の石川修一氏（JAとうや湖会長理事）、北海道報徳社の石田常務理事、女性職員の3人で森川組合長、伊藤専務理事、安達常務理事、当JA職員と共に墓の周囲を清掃し墓石を洗つた後、花を供え線香をあげました。

北海道報徳社では毎年、小林篤一翁の墓参りに訪れており当JA常勤理事も同行し一緒に墓参りを行っています。

と称した豪華賞品の当たる抽選会に参加できる特典付きのセールを行いました。のぶ店前にテントを張つて抽選が行われ、350人の方が参加を行いました。



墓参りした皆さん



1等の賞品を手渡す森川組合長



大抽選会の様子

美唄市長が小麦集出荷 調製施設を視察來訪

8月6日、板東美唄市長が峰樺3区にある美唄市小麦集出荷調製施設と峰延地区収穫機械施設利用組合を、小麦出荷状況の視察に訪れました。

板東市長一行は、8月6日の午後は美唄市内にある8ヶ所の小麦

小林篤一翁の墓参りに訪れる

8月6日、北海道報徳社の一行が三笠市峰延墓地にある小林篤一翁の墓参りに訪れたJA常勤理事らが同行しました。

墓参りに訪れたのは、JA北海

生活店舗でビッグセール 大抽選会を開催

生活店舗は、7月16日から8月11日の期間にビッグセマーセール

女性部・青年部がJA北海道 大会に向け組織討議

8月11日、JA会議室でJA北海道大会に向けた組織討議が行われました。JA北海道大会は3年に1回開催されており、本年が第30回JA北海道大会の開催年に当たります。

大会のメインテーマは「北海道業」と「豊かな魅力ある地域社会」です。これの実現に向けて対話すべき基本テーマが2つあり、「JA運営の好循環に向けて対話の成果を実践」「JA運営の好循



組織討議の様子

環を支える基盤の強化」です。

J Aの担当者が、メインテーマについて、意見・修正が必要な部分は討議のうえ理事会付議後JA北海道中央会に提出することとなると説明し、組織討議資料を説明しました。本討議に参加した女性部の吉村部長、青年部の佐藤部長以下三役の皆さんには活発に意見を述べていただきました。

J A女性部 『部員1人タオル1本運動』で 集まつたタオルを寄贈

J A女性部（吉村俊子部長）が、福祉施設にタオル等を寄贈するため、「部員1人タオル1本運動」を実施、部員から提供を受けたタオル・綿布を美唄市峰延町公園にある恵風園・恵祥園の高齢者福祉施設に寄贈しました。

この事業は女性部員の全員参加の運動として毎年続けており、粗品や記念品でもらう新品のタオル1本又は使い古しの綿布（洗濯済みのもの）を持ち寄り、福祉施設等で役立ててもらおうと年1回の寄贈を行っています。今年はタオル16本、綿布3枚が集まり、8月19日に吉村部長と矢部副部長、澤田副部長が恵風園・恵祥園を訪問

し和田園長に手渡しました。

和田園長は「毎年、このように寄贈をいただき本当にありがとうございます。備品として施設内で使わせていただきます」と感謝を述べました。



和田園長に手渡しました

トウモロコシ収穫体験行う 美唄市内の幼稚園児が管内で

8月20日、美唄市内の2つの幼稚園（美唄アカシア幼稚園、めぐみ幼稚園）の園児36人が佐藤勝彦青年部長のトウモロコシ畑で収穫体験を行いました。JA青年部の教育活動の取り組みで、6人の部員が参加し園児の収穫作業をサポートしていました。



トウモロコシの挽き方を教える佐藤部長

穫適期のトウモロコシの見分け方を伝授しました。各園児たちは大きくて美味しいトウモロコシを選び青年部員や引率の先生に収穫適期かを確認し、挽き取る時に力がいるので青年部員が手伝つていました。園児が収穫するのは1人2本、全身に力を込めて挽き取つて用意してきただ二つ袋に入れて農舎に持ち込み、農舎内で園児が自ら収穫したトウモロコシの皮剥きを行いました。佐藤部長が皮剥きをやつて見せてやり方を教えていましたが、園児は皮を剥く時に思ったより力が必要で奇声を

上げていました。園児が収穫し皮を剥いたトウモロコシは各自持ち帰りましたが、JAから職員が茹でたトウモロコシを半分にして全園児にプレゼントされ、笑顔を見せていました。

園児は、幼稚園バスに乗り込む前に、青年部の皆さんに大きな声でお礼を述べていました。

J A青年部が 現地研修会を開催

8月23日、JA峰延青年部（佐藤勝彦部長）が青年部事業の一環で現地研修会を開催しました。研修会は、美唄市光珠内北の当JA玄米ばら集出荷調製施設構内で行われ25名の部員が参加しました。

今回の研修内容は、新しい技術を使った使用頻度の高い農業機械の紹介です。

講師は、（株）丸山製作所北海道営業所の社員で、実物を持ち込み紹介された農業機械は、乗用管理機、自動草刈機、コンパクトキヤリーアクション噴、各種の動力散布機です。それぞれ最新の技術が採用されていて、自動草刈機はラジコン操作でバッテリ駆動、コンパクトキヤリーアクション噴は噴霧ホースが50mもある

等で従来にはない特徴等が満載です。

各機械は実演デモンストレーションを見せた後、青年部員も操作していました。

熱心に質問する青年部員もいて有意義な研修となりました。



講師が説明している様子

香りの畦みちハーブ米生産部会 販売先との意見交換会を実施

8月6日午後5時から、JA会議室で香りの畦みちハーブ米生産部会役員と販売先との意見交換会を実施しました。

「香りの畦みちハーブ米」は、販売先からは2年産米の販売状況や今後の販売方針、部会からは生産状況などの報告をしました。



活発な意見交換です

生産者の皆さまにおかれましては、ハーブ米の作付面積の維持・拡大を図るために令和4年産の作付を是非ご検討ください。峰延産米の知名度向上のためにご協力をお願いします。

生産者の皆さまにおかれましては、ハーブ米の作付面積の維持・拡大を図るために令和4年産の作付を是非ご検討ください。峰延産米の知名度向上のためにご協力をお願いします。

ハーブで害虫予防▶



空知管内JAみねのぶ「香りの畦みちハーブ米生産部会」は、ハーブを害虫予防に使い、農薬の使用を減らして栽培技術を確立した。「香りの畦みちハーブ米」として販売し、減農薬米として評価がある。部会一丸となり、ハーブが雑草（けはう）を覆い、雑草を抑制させるまで管理を徹底する。

同部会は2001年に設立。畦畔にハーブを栽培し、それを育む農業の除草効果を実証して、効率的なガムラン（ハーブ）を育む方法をアガベガムランとする。ハーブをカガメがすみかにするイネ科雑草の発生を抑え、栽培法で、減農薬の米栽培を進めている。使用するハーブは3種類。いずれも土壌改良剤として栽培するが、農地の約旦筋が悪くなるが最も高い「アップルミント」を栽培している。この「アップルミント」は、茎が太く、根元で穴を開けることもあり、根元を3年間を要する。それまで

の間、ハーブの散開部分に生れる雑草の除草管理が重要な作業。そこで、効率的なガムランとしてハーブが生えれば、雑草を抑制する効果がある。その後は、シーズン中に3回以上の草刈りが必要となる。特に「アップルミント」は、1年で複数回まで丈が伸びて、約旦筋を悪くなるが最も高い「アップルミント」にならないよう、根元で穴を開けることを行う。この「アップルミント」が雑草全体を覆うには、約3年かかる。

掲載された記事

J Aみねのぶと香りの畦みちハーブ米生産部会では、安心・安全な農産物の供給と、環境保全型農業の実践に取り組んでいます。

J Aみねのぶと香りの畦みちハーブ米生産部会では、安心・安全な農産物の供給と、環境保全型農業の実践に取り組んでいます。

「香りの畦みちハーブ米」は、J Aみねのぶの生活習慣とコープさっぽろ、近畿のジエイアール生鮮市場で取り扱っている。

「香りの畦みちハーブ米」は、J Aみねのぶの生活習慣とコープさっぽろ、近畿のジエイアール生鮮市場で取り扱っている。

「香りの畦みちハーブ米」は、J Aみねのぶの生活習慣とコープさっぽろ、近畿のジエイアール生鮮市場で取り扱っている。

「香りの畦みちハーブ米」は、J Aみねのぶの生活習慣とコープさっぽろ、近畿のジエイアール生鮮市場で取り扱っている。

「香りの畦みちハーブ米」は、JAみねのぶ店とコーポレートで販売しています。皆さま、是非お買い求めください。

「土生米」の取り組みが農業新聞に掲載される

「土生米（どじょうまい）」が特色ある米の取り組みとして7月30日の日本農業新聞に掲載されました。生産者自らが水田にどじょうを放流し、どじょうが生息できる安心・安全な栽培環境で作られたお米が「土生米」です。

「土生米」はコーポレートで販売システム「トドック」でお買い求めいただけます。

ドジョウ暮らす田んぼのお米

丹念に土づくり銘柄化



掲載された記事

新型コロナウイルス感染症の現状

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている北海道は8月27日から9月12日まで期間は「緊急事態宣言」の適用となり、全国では21都道府県が対象となっています。

デルタ株

新型コロナウイルス感染症は、インド由来で感染力が極めて高い変異株「デルタ株」が首都圏を中心に全国へ波及しており、道内でも置き換わりが進んでいます。今後の急激な感染拡大に強い危機感をもって対応し、一度、感染防止行動の実践に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症対策会議によると「デルタ株」の8月3日～9日の1週間の検査の陽性率が71.7%となり置き換わりが進んでいることが報告されました。8月3日～9日のデルタ株検査の陽性率は前週の7月27日～8月2日の47%から25ポイント近く増加。デルタ株陽性の67.2%が札幌市内でした。

日常生活では、

基本的な感染防止策を徹底してください。

- 3つの密を避ける（密閉空間、密集場所、密接場面）
- 感染リスクの高い場面（狭い空間での共同生活や、職場と休憩室など居場所の切り替わり）に注意
- 人ととの距離の確保
- マスクの着用
- 手洗いなどの手指消毒

外出にあたっては

- 札幌への不要不急の往来は控えましょう
- 感染リスクを回避できない場合、不要不急の外出や移動を控えましょう
- *必要な移動であっても、極力、家族や普段行動を共にしている仲間と少人数で、混雑する場所を避けて行動しましょう
- 高齢者など重症化しやすい方と接する際は、基本的な感染防止対策を徹底しましょう
- 不要不急の道外への移動は極力控えましょう
- *やむを得ず道外へ移動する場合は、体温チェックやPCR検査を受けて、体調管理を徹底しましょう

飲食の場面では

- 食事は4人以内、短時間で、黙食し、会話はマスク着用を実践しましょう
- 感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は控えましょう
- 飲食店等が実施している感染防止対策に協力しましょう
- 路上・公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動は控えましょう

峰延の女性農業者が 考えたレシピ紹介

1回目

今回は、峰千加(ほうせんか)の会員が考えたレシピを紹介します。

だし



材・料

- 大根 5cm(粗みじん切り) きゅうり 2本(粗みじん切り)
- なす 1本(粗みじん切り) 青しそ 5枚(千切り)
- トマト 中1個(皮と種をとって粗みじん切り)
- 生姜 少々(みじん切り) 白ゴマ 少々
- ▲みょうが、オクラなどを入れても良いです。
- めんつゆ(昆布つゆ、鰹つゆなどお好みで)

作り方

材料を全部混ぜて袋に入れ、材料の3分の1くらいまでめんつゆを入れます(空気をしっかり抜いて冷蔵庫で保存)。一晩で食べられますが、味を見て自分に合った味付けをしてみてください。

峰千加(ほうせんか)の活動紹介



私たちが考えました!

峰千加(ほうせんか)は、みねのぶの女性農業者のグループです。

現在は、15名で活動しています。

様々な知恵や技を持った人達と活動する中で地域を盛り上げようと設立しました。「世代を超えて、仲間と共に笑顔で」をモットーに色々なことに挑戦しながら活動を行っています。

最近は、野菜作りや加工用トマトの栽培などの研修による技術の向上や、オンラインでのジャムの販売、SNSを使って会員のレシピやアイディアを共有することで交流を行っています。興味のある方、一緒に活動してみませんか?



岩見沢市役所からのお知らせ

農業活性化対策事業(暗きよ事業)の希望者を募集しています

岩見沢市では振興作物の安定的な生産を目的とした暗きよ整備に係る補助を行っています。募集は、隨時実施しておりますが、令和4年3月31日までに施行完了とするものとします(事前着工不可)。詳細につきましては当市窓口または電話にてお問い合わせください。

○補助額 施工費の1/2以内。但し、上限額は無材暗きよ30万円・浅層暗きよ15万円とする。

○お問い合わせ先 岩見沢市役所 本庁舎2階 7番窓口 農務課農業経営係 (0126) 23-4111

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

中堅・若手職員紹介 vol.4

組合員と地域の皆様に顔と名前を覚えていただくため、入組10年以内の職員をピックアップして、座右の銘やモットーとしていること、簡単なプロフィールを添えて職員を紹介します。

※入組年数・年齢 令和3年4月1日現在

《職員に聞きました》

大きな文字で書かれているのは、座右の銘・モットーです。①休日の過ごし方、②好きな野菜とその食べ方、③理想とするJA職員像、④峰延の好きなところについて聞きました。

金融課 入組年数4年

よしだ ももか

吉田 桃花 (22歳)

日々精進

- ①YouTube鑑賞
- ②じゃがいも ポテトサラダ
- ③明るく接しやすい職員
- ④自然が豊かなところ



販売企画課資材店舗 入組年数4年

うえだ しゅんき

上田 駿樹 (24歳)

周りに気を遣い行動する

- ①野球、ゲーム
- ②茹でたアスパラをマヨネーズで食べる
- ③みんなから信頼される職員
- ④自然が豊かなところ



販売企画課 入組年数4年

たかくら りゅうせい

高倉 龍成 (22歳)

継続は力なり

- ①釣り、ドライブ
- ②トマト サラダ
- ③信頼される職員
- ④様々な農産物が生産され、美味しいところ



金融課 入組年数4年

むらやま ようすけ

村山 瑛亮 (30歳)

組合員ファースト

- ①飲酒
- ②アスパラ マヨネーズ
- ③頼られる職員
- ④人情味があるところ



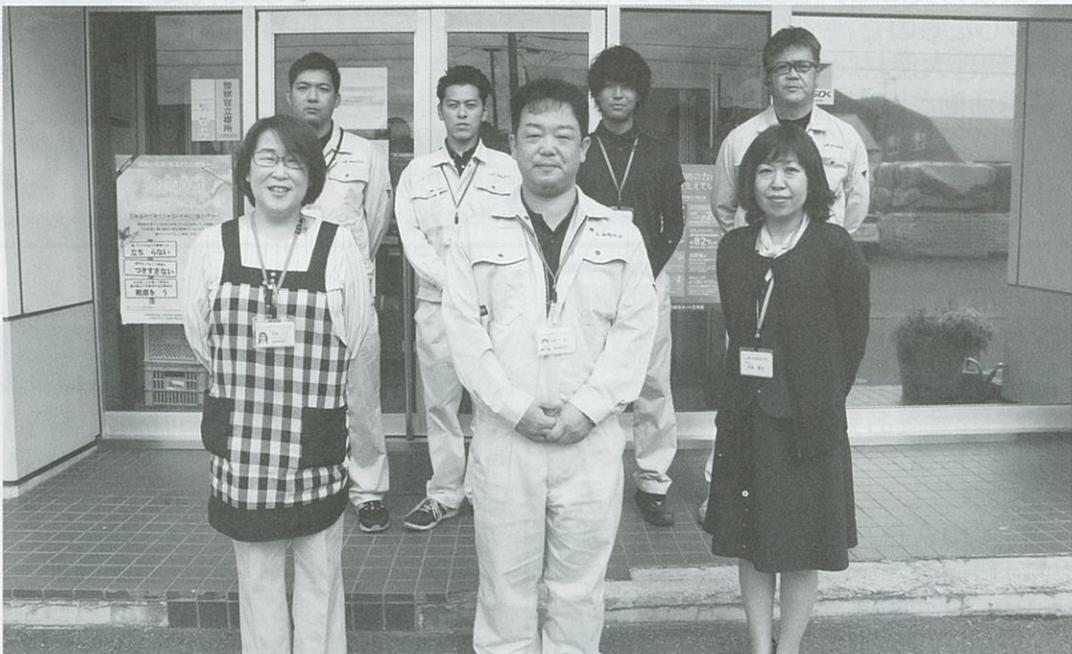
職員紹介（正職員、準職員）**4回目**

前月に引き続き、職員紹介を兼ねて各課の写真を掲載いたします。

組合員の皆さまのお役に立てるよう職員一同努力いたしますので、お立ち寄りの際はお気軽に声をかけて下さい。皆さまのご来店をお待ちしております。

販売企画課・営農資材店舗

肥料、農薬などをはじめとする生産資材物資を安定的に供給しています。



上田 駿樹 葛西 義奇 高橋 寛磨 伊藤 岳史
阿部 夕子 (販売企画課長)板井田 裕二 大池 敦子

販売企画課・給油所(美唄ガス株式会社社員)

ガソリン、軽油、灯油などの燃料油脂を安定的に供給しています。



石上 寿男 宮崎 孝治 (所長)姥名 修一

JAグループ通信 59

// JA北海道中央会



北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道の食農教育・社会貢献活動シンボルマークが決定!!

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、SDGsを基本方針とし食農教育・社会貢献活動をさらに発展させていくことを目的として、今年3月に新たに相互協力協定を締結しました。今年4月からは、新たな連携活動の象徴となるシンボルマークの公募を行い、約3ヶ月間で、道内外から81作品もの応募をいただきました。

その中で最優秀賞に輝いたこちらのシンボルマークは、長崎県在住の30代女性がデザインしたもので、今後、「コンサ・土・農園(コンサドファーム)」や「みんなのよい食JA親善大使」など、様々な活動で使用される予定です。

直近の連携活動としては、「コンサ・土・農園」で収穫した野菜のチャリティー販売を計画しています。トウモロコシは8月下旬・ジャガイモは9月下旬の北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム時に、札幌ドームで販売予定です。

【連携活動については、本会SNSでも情報を発信しています!】Twitter:@JA_HOKKAIDO_PR / Instagram:@ja_dosanko / Facebook:@jahokkaido



JA北海道信連



JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金サンクスプレゼント」を開催しています。今年は多くのJAで7月1日から、また、一部JAでは8月1日以降からお渡ししています。さらに、北海道警察とも連携して、招福ようかんパッケージに“特殊詐欺被害にあわれないよう注意喚起の標語”も印刷し配布しています。

JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引き続き取組んで参ります。



JA共済連北海道

JA共済では、「自動車共済お見積りキャンペーン」を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計13,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和4年3月31日(木)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております!



JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp/>

ホクレン



北海道神宮例祭に合わせ大鏡餅を奉納

北海道もち米団地農協連絡協議会(事務局:ホクレン)は6月11日、北海道神宮例祭に合わせて、日本一の生産量※を誇るもち米産地として、疫病退散(新型コロナウイルスの早期収束)と、もち食文化の振興も含めた北海道の農林水産業・経済の持続的な発展を祈願して、北海道産「はくちようもち」を使用した総重量120kg級の特大鏡餅を北海道神宮へ奉納しました。



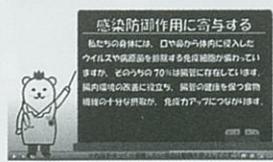
※令和2年産米農産物検査実績(2021年3月31日時点)

JA北海道厚生連

帯広厚生病院のYouTubeで「管理栄養士のお昼ご飯 職場飯編」の動画を公開しております。

管理栄養士が教える栄養バランスの良いお弁当の作り方、手抜きの方法など、普段お弁当作りをされている方必見の内容です!

是非ご覧ください。



↑動画内のワンシーン



↑このサムネイルが目印です!

紹介動画への
QRコードはこちら→



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRIACTION!
HOKKAIDO

